

公立大学法人沖縄県立看護大学
令和4年度業務実績評価書

令和5年9月

沖縄県公立大学法人沖縄県立看護大学評価委員会

I 全体評価

1 全体評価の総評

○令和4年度は、中期目標期間の1年目であり、中期目標達成に向け、中期計画に基づいた年度計画を順調に実施しており、着実な業務の進捗状況にある。

2 中期目標の達成に向け、評価できる点（優れた点、特色ある点）

○コロナ禍での法人化初年度ではあったが、教育研究や業務運営全般にわたり、各事業の着実な進展が図られた。特に、受験生の確保、各種国家試験の合格率、地域貢献に積極的に取り組んでいる点は高く評価できる。

○地域貢献に関する取組では、コロナ禍における学生のボランティア活動や、教員派遣による保健所等の支援、自宅療養者への健康観察に取り組んだほか、沖縄の保健看護に関する歴史資料を収集し、「沖縄医療保健看護史料アーカイブ」を整備したことは高く評価できる。

3 中期目標の達成に向けた課題（更なる充実が期待される点、改善すべき点）

○初年度ということもあり、数多くの項目で基本方針、施策の体系、規程の整備、計画等の検討がなされている。次年度はこれらの事項が具体的に進捗できることを期待したい。

○島嶼地域に関しては、中期目標において、看護職者の人材育成及び人材確保が有機的に連携し、好循環をつくるよう取り組む拠点の整備を図るとともに、看護職者に対するリカレント教育を実施するなど、関係機関の課題解決に向けた社会貢献を行うこととしている。島嶼保健看護に関する拠点整備は島嶼県である本県に立地する大学として取り組む価値の高いものであると考えるが、島嶼地域においては管理者を含む看護職の人材育成の課題が多く、施設側の努力だけでは課題解決が困難であることから、この取組を今後も着実に進めていただきたい。

4 中期目標の達成に向けた法人への要望

○初年度の取組としては着実に業務を実施しており高く評価できるが、中期計画と年度計画が適切に対応していない項目が見受けられるため、次年度以降、対応関係を意識して年度計画を策定していただきたい。

II 項目別評価

II 項目別評価

1 業務実績の検証

項目別評価を実施するにあたって、法人から提出された業務実績等報告書を基に検証を行った。

検証にあたっては、従前の評価結果に対する法人の業務運営への活用・反映状況等を確認するほか、中期計画及び年度計画に記載されている各項目の業務の実績について、中期計画の進捗・達成状況を確認するとともに、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行った。

検証は、法人からのヒアリングにより実施した。

2 業務実績の評価

業務実績等報告書の各項目の検証及び特記事項等を基に、業務の進捗・達成状況を中項目及び大項目ごとにV～Iの5段階で評価した。参考値の算出については、配点表1により算出し、小項目の評価については、表1によりS～Dの5段階で評価した。

評定		判断基準（目安）	参考値
V	年度計画を大幅に上回って実施している。	顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの	小項目又は中項目の平均値が4.5以上
IV	年度計画を上回って実施している。	年度計画を上回る取組、実績又は成果を挙げたもの、あるいは年度計画を順調に実施し、かつその取組に注目すべき点（※）が認められるもの	小項目又は中項目の平均値が3.5以上～4.5未満
III	年度計画を順調に実施している。	達成度が概ね100%程度と認められるもの	小項目又は中項目の平均値が2.5以上～3.5未満
II	年度計画を十分に実施できていない。	年度計画を計画通り実施できていないもの、実績・成果が年度計画を下回っているもの	小項目又は中項目の平均値が1.5以上～2.5未満
I	業務の大幅な見直し、改善が必要である。	評価委員会が特に認める場合	小項目又は中項目の平均値が1.5未満

※中期目標を達成するため、中期計画を前倒しして実施するなど、戦略性が高く意欲的な年度計画を積極的に実施するなどの、その取組に注目すべき内容が認められるもの、あるいは社会情勢の変化等の外的要因により達成がより困難となった年度計画について達成したもの等

【配点表 1】

小項目	評価 S	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D
配点	5	4	3	2	1

評価の個数に配点を乗じて、評価の平均値を算出（小数点第2位は四捨五入）

例) Sが1個、Aが2個の場合、 $(5 \times 1) + (4 \times 2) \div 3 = 4.33$ 平均値 4.3 \Rightarrow 評定IV

【表 1】 小項目の評価

評価		判断基準（目安）
S	年度計画を当初予定より大幅に上回って実施している。	顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの
A	年度計画を当初予定より上回って実施している。	達成度が概ね 110%以上と認められるもの
B	年度計画を当初予定どおり実施している。	達成度が概ね 90%以上 110%未満と認められるもの
C	年度計画の実施状況が当初予定を下回っている。	達成度が概ね 60%以上 90%未満と認められるもの
D	年度計画の実施状況が当初予定を大幅に下回っている。	達成度が 60%未満と認められるもの、あるいは年度計画を実施していないもの

3 業務実績等報告書の各項目の評価

【大項目評価】

1 教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

(1) 教育に関する目標を達成するための措置

評価結果

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価S 個数	評価A 個数	評価B 個数	評価C 個数	評価D 個数	評定
ア. 質の高い人材の育成を達成するための措置	3		1	2			Ⅲ
イ. 教育の充実を達成するための措置	1			1			Ⅲ
ウ. 学生の確保を達成するための措置	3		1	2			Ⅲ
エ. 教育の実施体制等の強化を達成するための措置	2			2			Ⅲ
オ. 学生支援体制の拡充を達成するための措置	1			1			Ⅲ

数値目標 ※上記評価項目に含む	達成/進捗状況
ア. 質の高い人材の育成を達成するための措置 【数値目標①】 国家試験合格率 看護師及び助産師 100%、 保健師 全国平均 97%以上 【数値目標②】 島嶼環境を活かした教育活動 離島実習学生数 100名/年	看護師 99% (達成率 99%)、助産師 100% (達成率 100%)、 保健師 94% (達成率 97%) 離島実習学生数 116名/年 (達成率 116%)
ウ. 学生の確保を達成するための措置 【数値目標③】 志願倍率 (学部) 2倍	2.28倍 (達成率 114%)
オ. 学生支援体制の拡充を達成するための措置 【数値目標④】 カリキュラム等、学修環境の満足 80%以上 【数値目標⑤】 就職率 100% 【数値目標⑥】 県内就職率 70%	83% (達成率 104%) 100% (達成率 100%) 75% (達成率 107%)

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○新設された「看護大学ゼミナールⅠ」の取組は学生の主体的な学びを広げる取り組みとなっており、地域と積極的に関わることは人間や生活を理解する上でも有意義なことである。

(2) 更なる充実が期待される点

○島嶼環境を活かした教育活動の取組に関して、実習実績は数値目標を上回る成果を出しており評価できる。そこには実習施設側の努力もあったものと推察する。一方、実習環境としては、保健医療人員不足等の気になる点もある。実習は受け入れ

先指導者との相互の関係性が成果に影響すると考えられ、学生の実習目標を達成する上で、指導にあたった実習先からの評価はどうであったのか示せるとなおよび。

- コロナ禍という制約のある中、架橋離島を実習先を含めたものと理解するが、学生には架橋離島ではない離島の状況がどのようなものか実際に体験してもらい、様々な課題があることを学ばせてほしい。また、島嶼医療とへき地医療の違いがはっきりしていないことから、整理する必要がある。
- 入試説明会の開催方法に工夫がみられ、志願倍率が目標の2倍を超えたことを評価しているが、アドミッションポリシーに見合った合格者となっているかの評価が望ましい。
- 看護職の実務者を対象とした入学選抜において英語試験を行わないことについては、英語試験を負担に感じている実務者が多いことから、検討の価値があると考えられる。また、看護職の人材育成については、現場の看護管理のトップマネジメントを担っている看護部長等がキーパーソンであるため、実習先の施設からでも、看護職員の人材育成に関するニーズを確認し、管理者へ向けて情報発信することも検討いただきたい。
- 助産専攻科の設置については、社会におけるニーズの変化に対応できる能力の高い助産師の育成が求められていることから、必要な取組である。設置にあたっては、県内で就業している助産師数の推移を十分に分析するとともに、医療現場における医師の働き方改革等を受けたタスクシフト・シェアの動向も注視して、需給のバランスを考慮した入学定員を検討することを期待する。
- 学生の経済的支援のために外部資金を獲得できたことは評価できる。今後はさらに情報収集に努め、困窮している学生に修学資金等の情報を多く提供することで一人でも多くの学生の支援につながることを期待する。

(3) 改善すべき点

- 特になし

【大項目評価】

1 教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

(2) 研究に関する目標を達成するための措置

評価結果

IV	年度計画を上回って実施している。
----	------------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価S 個数	評価A 個数	評価B 個数	評価C 個数	評価D 個数	評定
ア. 研究内容及び研究の推進等を達成するための措置	1		1				IV
イ. 研究の実施体制等の整備を達成するための措置	1			1			III

数値目標※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
ア. 研究内容及び研究の推進等を達成するための措置 【数値目標⑦】競争的研究資金申請率 60%	66% (達成率 110%)
イ. 研究の実施体制等の整備を達成するための措置 【数値目標⑧】競争的研究資金採択率 全国平均 26.7%以上	55.6% (達成率 208%)

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○特になし

(2) 更なる充実が期待される点

○特になし

(3) 改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

- 1 教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
 (3) 地域貢献等に関する目標を達成するための措置

評価結果

IV	年度計画を上回って実施している。
----	------------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評定
ア. 地域貢献等の拡充を達成するための措置	1		1				IV
イ. 国際交流の推進を達成するための措置	1		1				IV
ウ. 沖縄県及び関係機関との連携を達成するための措置	1	1					V

数値目標※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
ア. 地域貢献等の拡充を達成するための措置 【数値目標⑨】 公開講座（研修会）開講数 最終年度累計 15 件（R4 年度 1 件）	2 件（達成率 200%）
【数値目標⑩】 地域貢献事業数 5 事業／年	5 事業／年（達成率 100%）

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○コロナ禍でのボランティア活動等の地域貢献事業は学生の成長に寄与しており、高く評価できる。今後も地域貢献活動を広げることにより、学生の質の向上に繋げていきたい。

○コロナ禍で宮古、八重山の保健所を含めた保健所等への支援事業、自宅療養者の健康観察のための教員派遣は、県民の期待に応えるものであり高く評価できる。

○島嶼においては看護人材確保に常に苦慮していることから、島嶼町村の保健師確保等積極的な取組に関して、アドバイザー配置や関係機関との連携、合意形成等大きな成果を出していることは高く評価できる。今後の進捗に期待する。

(2) 更なる充実が期待される点

○沖縄の保健看護に関する歴史資料を収集する取組は、貴重な資料の散逸を避けて沖縄県立看護大学に集約することで保健看護の歴史研究における環境整備の一助となる有益な取り組みである。個人が所蔵するなど、まだ表に出てきていない資料もあると思われるため、引き続き収集に努め「沖縄医療保健看護史料アーカイブ」を充

実させていただきたい。

○コロナ禍において、教職員が沖縄県や那覇市の業務支援を行ったことについては地域貢献として高く評価できる。今後は、災害や新興感染症等、地域における健康危機状況発生時に備えた看護体制の構築が必要となることから、沖縄県等の関係機関と連携し、災害看護の視点から取り組みを強化する等更なる充実を期待する。

(3) 改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

2. 業務運営に関する目標を達成するための措置

評価結果

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価S 個数	評価A 個数	評価B 個数	評価C 個数	評価D 個数	評定
ア. 法人運営の改善に関する目標を達成するための措置	3			3			Ⅲ
イ. 人材確保及び人材育成に関する目標を達成するための措置	3			3			Ⅲ
ウ. 事務等の効率化及び合理化に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○特になし

(2) 更なる充実が期待される点

○教員による県内役場への長期派遣研修の取組に関して、派遣教員の能力向上及びモチベーション向上に繋がると期待する。今後は、逆方向から大学への看護職員研修の受け入れの検討を期待する。そうすることで現場の人材育成の強化に繋がり、大学の地域貢献も果たせると考える。

(3) 改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

3. 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

評価結果

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価S 個数	評価A 個数	評価B 個数	評価C 個数	評価D 個数	評定
ア. 自己収入及び外部資金の確保に関する目標を達成するための措置	1		1				Ⅳ
イ. 経費の執行に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
ウ. 資産の適性管理及び有効活用に関する目標を達成するための措置	2			2			Ⅲ

数値目標※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
ア. 自己収入及び外部資金の確保に関する目標を達成するための措置 【数値目標①】 経常費予算額に占める自主財源額割合 最終年度 25%	24.5%（達成率－）

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○特になし

(2) 更なる充実が期待される点

○特になし

(3) 改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

4. 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

評価結果

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評定
ア. 自己点検及び評価の実施に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
イ. 情報公開の推進等に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○特になし

(2) 更なる充実が期待される点

○特になし

(3) 改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

5. その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

評価結果

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価S 個数	評価A 個数	評価B 個数	評価C 個数	評価D 個数	評定
ア. 大学の安全衛生管理に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
イ. 危機管理に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
ウ. 施設設備の整備及び活用等に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
エ. 人権の尊重に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
オ. 法令遵守に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○特になし

(2) 更なる充実が期待される点

○特になし

(3) 改善すべき点

○特になし